

2024 年度第 1 四半期決算について

2024 年 7 月 31 日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、本日、2024 年度第 1 四半期（2024 年 4 月 1 日～2024 年 6 月 30 日）の連結業績についてとりまとめました。

売上高は、燃料・市場価格の低下等により、燃料費等調整額が減少したことなどにより、前年同期比 1,226 億円減の 1 兆 4,925 億円となりました。

経常損益は、主に燃料費等調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより、前年同期比 1,309 億円減の 1,022 億円の利益となりました。

また、特別損失に原子力損害賠償費 180 億円を計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純損益は、792 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当第 1 四半期 (A)	前年同期 (B)	比 較	
			A-B	A/B (%)
売 上 高	14,925	16,151	△ 1,226	92.4
営 業 損 益	628	1,511	△ 882	41.6
経 常 損 益	1,022	2,331	△ 1,309	43.8
特 別 損 益	△ 180	△ 503	322	—
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 損 益	792	1,362	△ 570	58.1

【セグメント別の経常損益】

2024 年度第 1 四半期のセグメント別の経常損益については、以下のとおりです。

- 東京電力ホールディングス株式会社の経常損益は、卸電力販売の増加などにより、前年同期比 91 億円増の 1,516 億円の利益となりました。
- 東京電力フュエル&パワー株式会社の経常損益は、JERA における燃料費調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより、前年同期比 448 億円減の 387 億円の利益となりました。
- 東京電力パワーグリッド株式会社の経常損益は、需給調整に係る費用が増加したことなどから、前年同期比 371 億円減の 117 億円の利益となりました。
- 東京電力エナジーパートナー株式会社の経常損益は、燃料費等調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより、前年同期比 614 億円減の 214 億円の利益となりました。

- 東京電力リニューアブルパワー株式会社の経常損益は、卸電力販売が増加した一方、修繕費が増加したことなどにより、前年同期比 20 億円減の 201 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当第1四半期 (A)	前年同期 (B)	比較	
			A-B	A/B (%)
経常損益	1,022	2,331	△ 1,309	43.8
東京電力ホールディングス	1,516	1,424	91	106.4
東京電力フュエル&パワー	387	836	△ 448	46.4
東京電力パワーグリッド	117	489	△ 371	24.1
東京電力エナジーパートナー	214	828	△ 614	25.8
東京電力リニューアブルパワー	201	221	△ 20	90.8

【2024年度業績予想】

2024年度の業績予想については、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働時期を見通せないことから、現時点で未定としております。今後、お示しできる状況となった段階で、お知らせいたします。

以上

添付資料

- ・ [決算概要](#)

- ・ 「決算短信等」については[こちら](#)をご覧ください。
- ・ 「特別損益の計上に関するお知らせ」については[こちら](#)をご覧ください。